

事業報告

<研修名>

第2回大分県社会教育行政職員専門研修会

<開催日時>

令和2年1月24日（金） 10:00~16:00

<会場>

県立図書館 第2・3研修室

<参加人数>

23名（県：10名、市町村：13名）

<研修趣旨>

県下の生涯学習・社会教育の一層の振興を図るために、事業遂行の中核的役割を果たす県及び市町村の社会教育行政職員等を対象に、その資質・能力の向上を図る。

今回は、国の最新の社会教育施策の動向に関する新たな知識を身につけ、各自治体における今後の具体的な方策について考える。

<研修内容>

【研修1】講演 「『変化の激しい時代』における社会教育行政の抱える課題」

講師：香川大学 地域連携・生涯学習センター長／教授 清國 祐二 氏

社会教育が抱える課題を、親子関係や地域の子育てなどの身近な事例から捉え、大きく変化するこれからの時代に待ち受ける社会教育行政の課題に立ち向かうために、社会教育行政職員が果たす役割や必要なスキルについて、わかりやすく示してもらいました。

【研修2】演習 「各自治体における現代的課題と、その解決のための事業の企画立案」

進行：大分県立図書館 学校・地域支援課 主任社会教育主事 黒木 哲也

変化の激しい現代において、各自治体が住民に学習させる必要のある課題＝「現代的課題」について、「個人の要望」と「社会の要請」という観点から課題を焦点化し、課題の解決に向けた方策＝学習プログラムの策定について、グループで協議しました。それぞれの市町村の現状について情報交換も含め、身近な視点から考えてもらうことができた。

<当日の様子(写真)>

【研修1】講演『『変化の激しい時代』における社会教育行政の抱える課題』

香川大学 地域連携・生涯学習センター長/教授 清國 祐二 氏



【研修2】演習「各自治体における現代的課題と、その解決のための事業の企画立案」

大分県立図書館 学校・地域支援課 主任社会教育主事 黒木 哲也



<参加者感想>

- ◇今後求められる資質や方向性がわかった。
- ◇講演では、子育てのことからめて、よい学習になった。
- ◇とても参考になった。清國先生の話はとてもよかった。
- ◇先生の第5ステージの話がよかった。
- ◇グループでゴールまで行きつくことができた。現代的課題の解決に向けて、グループ内で議論できた。
- ◇課題の解決に向けた方策の作り方が学べた。
- ◇いろいろな立場の方と情報交換ができたことがよかった。
- ◇各市町村の方々の意見が聞けてよかったので、地元の仕事に活かしていきたい。